

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	25-531
研究の名称	門脈合併切除を伴う膵癌手術の長期成績と予後因子の検討
総研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028 年 03 月 31 日
試料・情報の利用を開始する予定日	2025 年 10 月 21 日
研究の対象	2016 年 1 月～2023 年 12 月に当院で膵癌の手術を受けられた方
研究の目的	膵頭十二指腸切除（PD）は膵頭部癌に対する唯一の根治的治療法であるが、門脈浸潤を伴う症例において門脈合併切除が予後を改善するかについては明らかなでない。2016 年膵癌診療ガイドラインでは、R0 手術が期待できる場合に門脈合併切除を伴う膵頭十二指腸切除術（PD+PV）を考慮して良いとされ、近年ではより積極的に PD+PV が行われているが、長期予後や予後因子に関する詳細な報告は限られている。今回我々は、当院において PD+PV を施行した膵癌症例に対して予後に影響を与える因子を検討する。
研究の方法	門脈切除を伴う膵頭十二指腸切除をおこなった膵癌患者のどのような特徴が術後予後不良にかかわるかについて研究をおこなう。 具体的には、臨床病理学的患者背景、門脈浸潤の術前画像所見、術後合併症を含めた周術期因子、術後補助療法について、また Prognostic nutritional index : PNI など炎症・栄養マーカーと予後の関連について後方視的に比較検討を行う。
研究に用いる試料・情報の種類	試料：なし 情報：電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、病歴、治療歴、合併症などの発生状況、年齢、イニシャル、術前画像所見、予後情報（全生存期間、無再発生存期間）等。

個人情報の取扱い	患者さんを直接特定できる氏名や住所等の個人情報は、利用する情報から削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
お問い合わせ先	＜当院の連絡先＞ 地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 所属：肝胆膵外科 研究責任者：富原 英生 住所：大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号 TEL：072-272-1199(代表)

作成日：西暦 2025 年 08 月 28 日（1 版）